

令和元年

在外研究員報告書

所 属	経済学部		経済学科
職 名	教授	氏 名	佐土井有里
調査研究題目	ミャンマー中小企業における人材育成と伝播		
研究先国	ミャンマー	研究機関	マンダレー大学
期 間	2019年9月1日 ~		2020年8月31日
研究員の種類	長期支給研究員		

在外研究員報告書用紙

2019年9月1日～2020年8月31日までミャンマーのマンドレー大学経済学部にて「ミャンマー中小企業における人材育成と伝播」というテーマについて、1調査・2研究・3教育活動を実施した。本報告では、活動内容と成果について報告する。

1. 調査

- ① 調査活動として、まず、2019年10月にマンドレー工業団地管理委員会に本調査計画を提出し、企業調査を進める承認を得て、協力体制を整えた。
- ② 2019年11月から2020年2月末まで、マンドレー地域の中小企業30社対象に訪問聞き取り調査を実施した。当初は3月以降も継続調査の予定だったが、コロナの影響により、企業調査継続は困難で、30社で打ち切ることになった。

2. 研究

- ① 研究活動として、3月末から6月まで調査結果のまとめや論文執筆に集中し、6月中旬に報告書を完成させた。
- ② 6月末に調査結果報告書をマンドレー工業団地管理委員会に提出するとともに、調査報告会を開き、マンドレー企業家対象に調査結果と中小企業の問題点、課題について説明した。
- ③ 9社に対し、個々の企業の問題点を詳細に分析し、また、日本側の関連企業に対し対応策を共に検討した。
- ④ 日本とのZoom会議を主催し、ミャンマー企業と日本企業の意見交換会を実施した。(計4回)。この会議では、ミャンマー側の抱えている経営・技術的問題点を事前に日本側に伝え、関連企業による技術的アドバイスや、経営管理、人材管理、人材育成、生産管理、品質管理等の問題点について、日本側からの意見やアドバイスを受け、共に考える機会を設けることができた。
- ⑤ この活動はミャンマーの全国紙、地方紙、ニュース等で取り上げられ、一定の評価を得た。

3. 教育

- ① マンドレー大学MBAコースのHuman Resource Development授業を担当し、約150名の学生に対して日本の人材育成について指導した。
- ② マンドレー大学MPAコースの学生(主に公務員)に対し、Human Resource Development授業を担当した。
- ③ ヤンゴン工科大学学生に対して、Knowledge Innovationの授業を実施した。
- ④ マンドレー工科大学学生に対して、Knowledge Innovationの授業を実施した。
- ⑤ 約500名の学生に対して直接授業を実施し、その際、アンケートに協力を依頼した。アンケート結果は人材育成の現状把握に役立つことができた。

全体を通して、前半は教育と調査、後半は調査のまとめと研究に集中した。調査結果は現在出版準備(日本語版、英語版)を進めている。1年間の調査研究を通じて、多くの大学関係者、企業関係者の研究仲間や友人ができた。このミャンマーでの人脈や人的ネットワークは今後の調査研究や学生教育にも大いに役立つと思うので、今後も継続して交流を維持するように努める。

このような1年間の在外研究の機会を与えていただき、名城大学と経済学部をはじめお世話になった方々に心より感謝の意を表したい。